

「核廃絶！ヒロシマ・中高生による署名キャンペーン」(2023 年度＝第 16 期)

趣意書

ヒロシマ・ナガサキの想いを胸に

私達は被爆者の想いを継承し、核廃絶のために行動します。

この「核廃絶！ヒロシマ・中高生による署名キャンペーン」は広島と沖縄の中高生が平和のために何ができるかを考え、2008 年に始まりました。

2023 年 4 月 1 日現在、世界の 8247 都市が加盟している平和首長会議は、都市による軍縮と人類共通の安全保障に向けた平和構築を目標とし、核兵器の廃絶に向けた様々な活動を行っています。この署名活動もその 1 つです。

昨年度も国内外に関わらず、沢山の方のご協力により、18,898 筆もの署名を集めることが出来ました(15 年間の累計 674383 筆)。集めた署名は平和首長会議を通して国連関係者に届けられています。

核なき未来の実現に向けて

2017 年 3 月に核兵器禁止条約の交渉が開始され、7 月に採択されました。それにより、核廃絶に向けて大きな一歩を踏み出した年となりました。しかし、採択に賛成した国は 122 ヶ国だったのに対して署名したのは 70 ヶ国、そのうち批准したのは 2023 年 1 月 9 日現在で 68 カ国と少ないのが現状です。

また、核保有国や唯一の戦争被爆国である日本は交渉にも参加せず、反対の意を変えませんでした。

現在、世界には約 12,000 発を超える核兵器が存在しています。

私たちは一刻も早くすべての国が核兵器禁止条約を締結することを求めます。

被爆者の平均年齢は 83 歳を超え、私達は被爆者から直接証言を聞ける最後の世代となりました。このことを心に留め、被爆者からの思いを受け継ぎ、より多くの方々に平和について考えていただき、共感と思いやりの輪を広げていきたいと思えます。ヒロシマ・ナガサキの被爆者と同様、国内外の放射線の被害に遭われた方々の存在も忘れてはいけません。

2022 年 2 月 24 日、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まり、今もなお、罪のない多くの民間人が命を奪われています。また核兵器の使用を示唆する発言も相次いでいます。私たちは被爆者の方々の「もう誰にも自分と同じ思いをさせてはならない」という言葉を胸に刻み、署名活動に励んでいきます。

核兵器廃絶は、決して簡単なことではありません。しかし、今までたとえ小さくとも一人一人が声を上げ続けてきたことで、世界は少しずつ変わってきています。

核廃絶の実現には、皆様のご協力が不可欠です。よろしくお願ひします。

広島女学院高等学校(広島県広島市)署名実行委員会

盈進中学高等学校(広島県福山市)署名実行委員会

沖縄尚学高等学校(沖縄県那覇市)署名実行委員会

2023 年 6 月